

《長崎新聞 平成24年10月22日朝刊より転載》

【質問】最近、自殺の報道が目につきますが、政府はどのような対策を立てているのでしょうか。

(43歳・主婦)

自殺対策

【回答】わが国の自殺者

数は1998年に初めて3万人を超えて以来、高い水準が続いています。交通事故死者数の約6倍(2009年)という多さです。欧

米の先進諸国と比べても突出して高い水準にあります。政府は2006年、国を挙げて自殺予防に取り組むため、自殺対策基本法を施行しました。その成果か、03年にピークだった自殺者数は減少しています。本県

うつ病の早期発見柱の一つ



近一-year間に自殺を考えたことがある」と答えています。今や自殺は一部の人だけの

念を捨てる必要があるです。周囲が自殺について十分に理解し、積極的な関わりを持つことが重要なのです。

自殺はその多くが社会の努力で防ぐことができるというのが、世界の共通認識です。失業、倒産、多重

の自殺者数(警察統計)も03年の482人をピークに減少し、11年には347人と3割近く減りました。しかし、自ら命を絶つ人が依然として多いわけで、今後

問題ではなく、誰にでも起こり得る重大な危機なのです。自殺に追い込まれる前に

債務、長時間労働などの社会的要因については制度、社会的慣行の見直し、相談・支援体制の整備など

も取り組みを続けなければいけません。今年の内閣府の意識調査によると、20人に1人が「最

ちゅうちよせず誰かに相談し、援助を求めることが大切です。そのために、自殺の原因となる多重債務やうつ病が不名誉で恥ずかしいものという社会通

厚生労働省の自殺・うつ病等対策プロジェクトチームによると、自殺の最大の原因である健康問題のう

一人一人が予防の主角に

ち、うつ病がその43%を占めています。うつ病の早期発見、早期治療は自殺予防の柱の一つです。自殺者が最も多いのは40代、50代の働き盛りの中高年です。静岡県富士市では中高年の2週間以上続く不眠に着目して、うつの早期発見に成功しています。

自殺を考えている人は不眠、体調不良などのさまざまなサインを発しています。サインに気付き、対象者を適切な相談窓口や医療機関に導くことが大切です。この役割ができる人たちを「ゲートキーパー」と呼びます。本県はマニュアル集を作って、多くのゲートキーパーを養成しています。国民一人一人が自殺予防の主角なのです。

(県医師会)

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。